

川上ダム通信

2018

6

月号



Vol. 153
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)



川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

美しい川を守るために

気温、湿度ともに高い夏日となった5月18日(金)、伊賀川漁業協同組合と機構職員(本体工事JV等施業者を含む)の総勢60名が参加し、河川清掃を実施しました。昨年に引き続き、漁協関係者の皆様と合同で開催させていただくことができました。

この清掃活動は、アユの解禁前に少しでもきれいな河川にしようという趣旨のもと開催されています。6回目となった今回は、川上ダム下流の前深瀬川(羽根橋~^{はなよいせき}花代井堰)に加え、木津川本川(後瀬橋下流~^{えびす}戎橋)にも範囲を広げての作業を行いました。



川の中まで入ってゴミを収集



暑いなかお疲れ様でした

胸まである草をかき分け、例年より高い水位に苦戦した箇所もありましたが、皆さんの頑張りの結果、自転車3台、タイヤ7本、ミシンに鉄くず等々を含め、軽トラック3台分のゴミを収集しました。

この活動が美しい河川の維持につながり、アユ漁を楽しみにされている皆さんにも喜んでいただけると幸いです。そして6月10日(日)には、アユ漁の友釣りが解禁されます。今年は、女性と中学生以下は遊漁料が無料になるとのこと。この機会に家族そろって釣りを楽しまれてはいかがでしょうか? 【第二用地課 西岡亜紀】



収集後の分別も清掃の一環

事業説明会・現場視察を実施



三重県への事業説明

○三重県

5月14日（月）、三重県への川上ダム建設事業に関する説明会を開催しました。これは、年度当初に当該事業年度の事業計画等の説明を行うもので、今年度は地域連携部、県土整備部、伊賀建設事務所から合計14名の皆様にお越しいただきました。

事業説明に引き続き、4月4日に転流されたダム建設現場を視察していただき、ダム建設工事が順調に進捗していることを確認していただくとともに、今後の事業予定等について意見交換を行いました。

○名張警察署・伊賀警察署

5月18日（金）、名張警察署及び伊賀警察署による合同の現場視察がありました。この視察は、川上ダム建設事業に係る緊急事案や事故発生時における警察署の初動を円滑に行っていただけるよう実施しているもので、名張警察署から加藤署長他2名、伊賀警察署からは川上署長他2名の皆様にお越しいただきました。両署長は、過去に視察されたときからの工事現場の変貌ぶりに驚かれていました。

概要説明の後、ダムサイト右岸天端からのダム建設予定地の現況、西之沢橋付近から上流仮締切工の施工状況、ダム建設現場への進入路となる工事用道路や付替県道を視察していただきました。

【総務課 大西誉朗】

淀川水系流域委員会 ダム現場を視察

5月9日（水）、淀川水系流域委員会によるダム現場視察が行われました。この視察は、淀川水系河川整備計画の進捗状況の点検として実施されたもので、木津川上下流視察の一環として、委員9名の皆様に川上ダムを視察していただきました。

委員は、ダムサイト右岸天端からのダム建設予定地の様子や、前深瀬川の転流状況、上流仮締切工の施工状況などを視察されました。また、流域に生息している国の特別天然記念物オオサンショウウオなどの環境保全にも十分配慮しながら工事を施工していることについて、当建設所より説明を行いました。

委員からは「転流トンネルはどれくらいの規模の洪水まで流せるのか」などの質問をいただき、1年に1回の確率で発生する程度の出水量には対応できることを説明し、ご理解をいただきました。

当建設所では、平成34年度のダム完成に向け着実な事業進捗に努めてまいります。

【総務課 大西誉朗】



工事進捗の説明状況

「にんぱく」開催 忍者を体験

4月22日(日)、伊賀市文化会館にて『伊賀 DE 忍者博覧会』、通称「にんぱく」が催されました。本格的な手裏剣投げの体験、吹き矢の射的などの忍者をモチーフとした10種類以上のゲームのほか、忍者が用いていた薬草や毒草などを三重大学協力のもと学術的に研究したブース、更には伊賀市観光大使の「いが☆グリオ」や伊賀近辺のご当地キャラたちによるパフォーマンスのほか、数多くのフードショップも設置され、賑わっていました。

また、会場では殺陣ユニット・伊賀之忍者衆「羅威堂」による忍者劇「伊賀に吹く風」の公演がありました。演舞と近年話題のプロジェクションマッピングを融合し、生のギターソロをBGMとしたオープニングの演出が観客を魅了。そして、役者の華麗な剣裁きは舞台演出も相まって、あたかも忍者が現代に蘇ったかのようでした。

筆者も右の写真のとおりゲームに挑戦し、褒美としてお菓子を賜りました。伊賀忍者を知り、忍者に触れ、そして忍者になれるイベントを楽しく満喫してまいりました。 【経理課 西澤貴之】



修行に励む筆者(吹き矢の的を射貫く瞬間)

未熟なため、腰が引けている



余野公園つつじ祭に行ってきました そして、たくさん歩きました

5月13日(日)、伊賀市柘植町の余野公園で開催された、第31回余野公園つつじ祭に参加しました。

つつじ祭開催に際して、名所を経由して柘植駅から余野公園までの約4kmを歩くウォークイベントが開催されました。筆者は一度余野公園に向かったのですが、到着したときには既にイベント隊が出発していたため、柘植駅に戻った後、コースをたどることにしました。

まずスタート地点の柘植駅へ行くため、余野公園から東海自然歩道を歩きました。緑をたっぷり浴びることで、心身ともにリフレッシュすることができ、大変心地よかったです。



森林浴で心身ともにリフレッシュ



美しい花を咲かせていました

その後、つつじ祭ウォークのコースをたどり、柘植駅から、都美恵神社、徳永寺、柘植歴史民俗資料館、風の森社跡を経由して余野公園まで歩きました。2~3世紀以前に起源をもつといわれる都美恵神社や、藤堂家各藩主からの寄進状が現存する徳永寺など、柘植の歴史・文化に触れることができました。

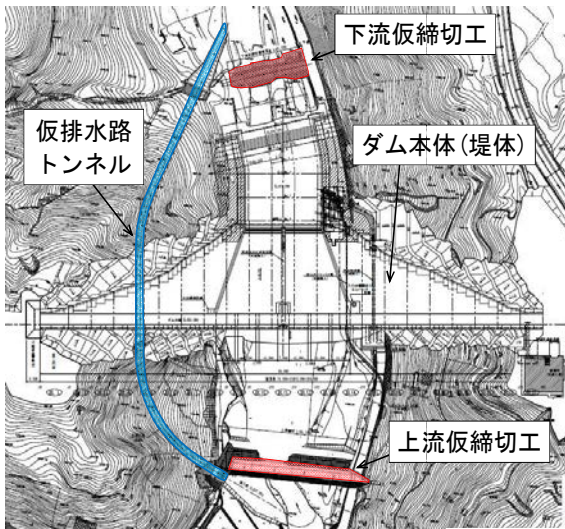
ゴールの余野公園では、あいにくの空模様でしたが、ステージイベントや出店が出ており、県内外問わず大勢の人で賑わっていました。つつじは、残念ながら見頃を過ぎていましたが、美しい花を咲かせている木がいくつかあり、鑑賞することができました。みなさんも、来年のつつじ祭にはぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

【総務課 関澤佳晃】

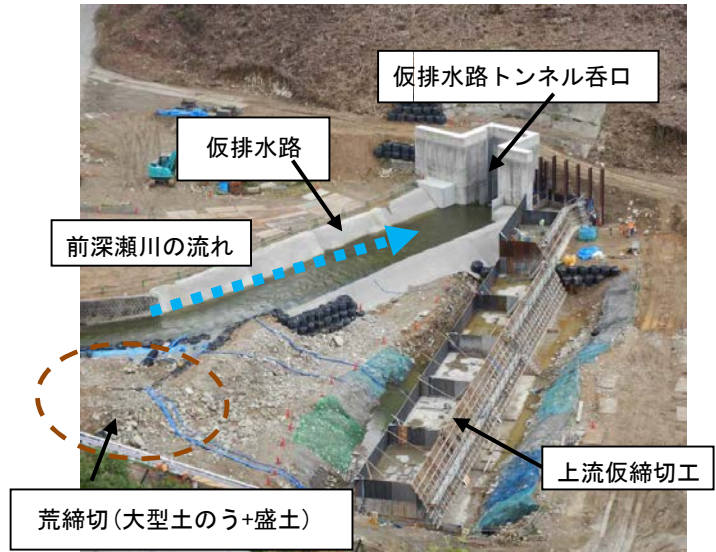
川上ダム建設事業が本格化する中、より一層の情報発信に努めるべく今月号から本体工事等の進捗状況についてお知らせする記事を毎号連載することにします。

川上ダムでは、4月4日に転流を行い、現在は上流仮締切工を施工中です。

- ☆上流仮締切工は転流工の一環で、ダムの堤体をつくる場所を陸地化するため前深瀬川の流れを工事期間中仮廻しの水路に切り替えるにあたり、この陸地化する範囲の上流にコンクリートで構築する締切堤のことで。
- ☆高さは10m、長さは93m、コンクリートの量は全体で約3,600 m³(大型ミキサ一車800台以上相当)です。
- ☆これまでに約1,800 m³(5月18日現在)のコンクリート打設が完了しています。



転流工とダム本体(堤体)との位置関係



上流仮締切工の施工状況 (H30.5)

~本体工事の進捗状況~

:完了
 :施工中
 :未実施

転流工		基礎掘削		コンクリート打設		試験湛水		完成! (H35.3 予定)
仮排水路トンネル	仮締切							

【工事課 市川滋己】

イベントのお知らせ

ほたる祭り

開催日:平成30年6月9日(土)
 開催場所:博要の丘(博要地区市民センター)
 問合せ先:博要地区市民センター
 0595-55-2004

竹灯りコンサート&ほたる鑑賞会

開催日:平成30年6月9日(土)
 開催場所:常福寺・北川堤防(伊賀市古郡地内)
 問合せ先:神戸地区市民センター
 0595-38-1300



編集後記

夏が近づき、職員の装いも軽くなってきました。この時期は、まだ暑さに慣れておらず自分が思っている以上に身体に負担が掛かっていることがあるそうです。少し早めの水分補給や室温管理が、心身の健康につながります。少し早めですが、熱中症にはお気をつけください。

【広報誌発行事務局】

編集長 北牧(所長)
デスク 大西(総務課長) 中野(工務課長)
記者 西澤(経理課) 伊美(第一用地課)
 馬場(調査設計課) 柳瀬(環境課)
 西(工事課) 下園(機械課)